



# 機械科通信

酒田光陵高校機械科

第2号

平成26年5月17日

## ◆機械科恒例の学科対面式

新入生が入学すると、毎年機械科では「対面式」が行われます。これは、伝統ある『機械科』の仲間になるための言わば儀式のようなものです。2・3年生から歓迎の言葉？があり、機械科に関わっている先生たちの自己紹介と続いていきます。各先生方からは、「誇りを持って」、「挨拶をしろ」、「部活動がんばれ」など激励の言葉がありました。そして、いよいよ新入生の自己紹介です。機械科では自己紹介の最後に一人ひとり一発芸をすることが慣わしになっています。今年も全員が元気に考えてきた芸を披露していました。この瞬間から機械科の一員となり、先輩たちからも「かわいい後輩」として面倒を見てもらうこととなります。

## ◆ゴールデンウィークにたくさんの卒業生が来校！

機械科の生徒はほとんどが就職します(昨年度は 35 名が民間企業への就職)。その生徒たちが毎年ゴールデンウィークになると近況報告をしに来校します。たった1ヶ月ですが顔つき、態度が全然違いました。

先輩がいろいろしてくれるので助かっています。

初任給で親と寿司屋に行きました。

高校時代習ったことが役に立っています。

やっぱり高校時代に部活動ががんばっていて良かったです。

開発の仕事は大変ですが夢があります。

日本を支えている企業で仕事ができることに誇りを感じます。



## ◆技能検定について

本校の工業科が技能検定の受検を推奨していることは周知のことと思います。今回は、山形県における本校それから機械科の取り組み状況を数値で紹介したいと思います。

現在本校の2・3年生にも多数の技能士(技能検定合格者)が在籍していますが、多くは3級技能士です。今現在山形県の高校生で2級技能士(2年時に取得)は5名しかいません。その内本校生徒が4名です。さらにその中の3名が機械科の生徒なのです。(田賀さおりさん、普通旋盤・小野博臣君、機械系保全・佐藤燎介君、機械系保全) 山形県全体での高校生2級技能士5名中3名が機械科の生徒であることに、機械科生徒職員全員に誇りと自信を持ってほしいと思っています。またこの結果に満足することなく、さらに合格者数と合格率の増加に期待しています。

工業科の生徒の多くは就職を希望しています。君達は毎日の授業で工業の勉強をしているというものの一般社会に通用する客観的な技能のレベルを証明するには、外部の検定試験というものが有効なのです。履歴書に記載されている取得した資格の陰に見え隠れする合格のために努力した形跡が企業の評価につながります。

平成25年度1年間の山形県全体と本校全体の合格者数を紹介します。

3級技能士 176名(山形県全体590名 29.8%が本校生徒)

2級技能士 12名(山形県全体23名 52.2%が本校生徒)半数以上！

昨年1年間に県内で590名(延べ人数なので実人数は400名前後?)もの3級技能士がいるということは、3級を一つ取得したくらいではさほどの評価にはならないということです。より多く、より難易度が高く、質と量の両方が求められるのです。一人でも多く合格できるよう機械科全職員が全力で支援します。

技能検定試験は年2回ありますが、高校3年間では1年生の後期・2年生の前期・2年生の後期・3年生の前期と4回しかチャンスが無いと思って下さい。また2級に挑戦するには3級を取得しておくことが必須です。それには早い段階から自分自身3年間でどのような順番で資格を取得するのかを、イメージしてほしいのです。君たちのチャレンジ精神に大きく期待しています。ガンバレ！！